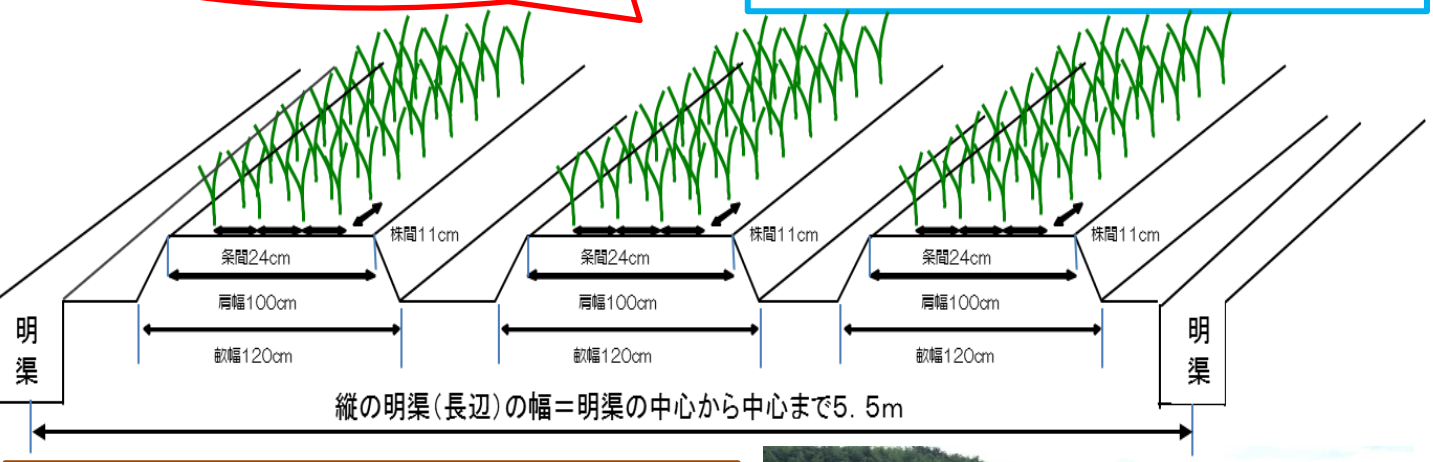
園芸・特産通信 Vol.5
～タマネギ定植前の準備～

①雑草処理 ➡ **②溝切り** ➡ **③砕土** ➡ **④畝立**

①バスタなどの茎葉処理剤で圃場の雑草を枯らします。

畝立、溝切りの簡易図です。
より詳細な図を裏面にも載せています

②圃場をしっかり乾かすために溝切りを行います。明渠の中心から中心までの距離は5.5mを保って下さい。
※圃場の上と下4mは機械旋回用の枕地を作ります。枕地の耕うんは行いません。



③土が乾いた時に深さ10cm程度で浅耕を行います。土が乾けば繰り返し、2～3回行います。また2～3回の内に粒状苦土石灰とBM重焼燐を散布します。
粒状苦土石灰：150kg/10a
BM重焼燐：20kg/10a

ここまで土が細かいのが理想です！

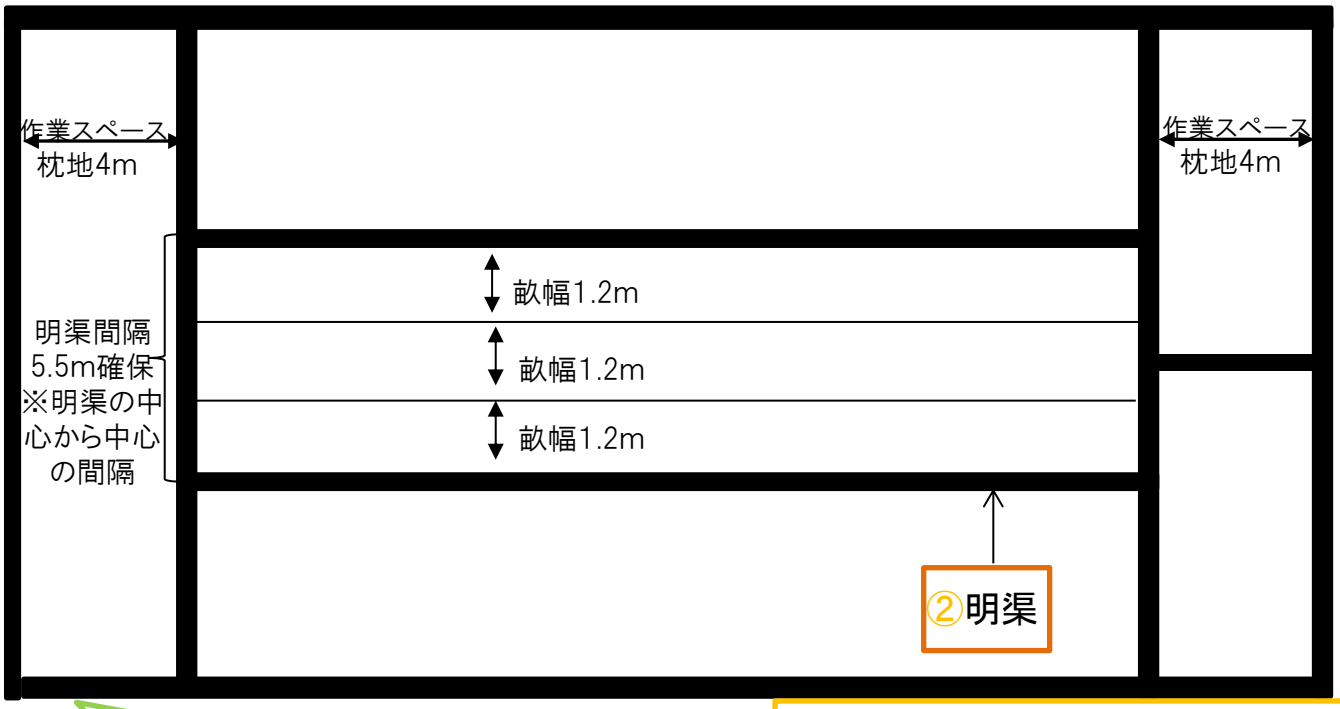
④畝肩幅100cm、畝裾幅120cmの畝を立てます。
※JA畝立機では畝立同時施肥が出来ます。
スーパーSRコート：140kg/10a

以上の圃場準備を10月25日を目処に完了して、定植に備えましょう！適期定植で収量向上を目指します！

○定植時期

・中生品種のターザンは10月25日～10月末、中晩生のもみじ3号は 11月頭から定植して反収量向上を目指します。
・苗は今年度もJAレーク伊吹に委託しておりますので、苗渡しの日 程などはまた連絡させて頂きます。

圃場準備詳細図



○排水対策手順
①額縁明渠施行
②明渠施行
③排水溝への接続確認

※注意※
圃場の上と下の4mは機械旋回用の枕地を作ります。
枕地は耕うんを行いません。

※悪い例
明渠が排水口に繋がっていないと圃場の下に水が溜まってしまいます。